









とあるお方の従者としてダンジョンを探索中、私だけを残しあっけなく全滅した残った私も魔族に誘拐されてしまった……
この薄暗い空間に連れて来られ何日目だろうか？
枷を付けられるも、何かをされる訳でも無く餌を与えられるだけの日々……

ある日の事――

目覚めると……肌の青い……魔族の女が私に覆い被さっていた。



あの子達……手を出さずにとお世話してみたいねえ
せつかく最高の身体になれたのだからヒトの女の子を孕ませてみたかったのよね
孕ませる……？ 何を言ってるのだろうか
目の前の魔族が言っている事に対し頭が理解を拒む



お腹の入れ墨に魔力を流してえ……あはっ♡ おちんぼ生えたあ♡

混乱する私をよそに魔族の女は自身の下腹部に魔力を込め始めた
魔力を込めると同時に女の股間から……男のソレが……せり出てきた
小さく悲鳴を上げてしまい、余計に女のソレを怒張させていた……



二又に分かれた舌で唇を濡らしながらソレを私の腹に擦りつけている……
これから私がどういう目に遭うのか理解してしまう

ねえ……あなた、名前を教えてくださいませんか？

名前、教えてくださいませんか？

……アデリーナ



アデリーナ…うんうん……アディちゃんね
それじゃあ、アディちゃん……
私の子を
それ以上の言葉を聞きたくない……聞きたくな……
孕んでちょうだいね♥



あはっ アディちゃんの膣内あつたかくて気持ちいいわあ
アディちゃんはどう？ おちんぼ気持ちいい？ 気持ちいいでしょ？

……気持ちよく……ない……あっ！ うっ……

無理矢理ウソをつかなくてもいいのに♡
毎日食べていたご飯に気持ちよくなる為のモノがいつぱい入ってたのよ？

その証拠にほら……あなた生娘だったでしょ？
それなのに激しく突かれて随分よがってるじゃない

違う……違う……うう……

嬌声を上げている身体と違い頭は冷めていたが、否定することはできなかった



アディちゃんのおまんこが気持ちよすぎてもう射精ちゃうそう

あのご飯には子供が出来やすくなるお薬も入ってるから……
射精したら確実に孕んじゃうわねえ

射精……？ 産みたくないっ……嫌だ……

言葉ではそう言いつつも、身体は既に受け入れる準備を済ませているのが分かった

あははっ怖いのかしら？ 安心して♥

孕んでお腹が大きくなってもきちんと飼ってあげるわ

……私を、飼う

この魔族にとって、私はただのペットと同じ存在……
それなのに……ただ無意味に殺されるよりはマシだと、そう考えてしまう



それじゃ、^{なか}膣内に射精すわよー！
あっ射精てるっ
人の子孕ませちゃうっ♡



あはあ.....♡
いっぱい射精たあ♡

.....産みたくない.....産みたくない.....

もうっ往生際が悪い子ねー
アディちゃん、あなた気付いてないかもしれないけれど.....
私が飼うって言った時、ものすごく膣を締め付けてたわよ？
もしかしてそういう願望があるのかしら？

.....そんな事.....あ.....

.....気づいてしまった

私を飼うという言葉に対して、否定などしなかったことに.....

こんな目に遭っていいながらも、嫌悪感を示していなかったことに.....



そんな終わりを求める自分を認める事で、笑みが溢れてきた
人生のほとんどが人に付き従うだけだった私には、お似合いの最後だろう
あらっいい笑顔ね
そういう顔のできる子は大好きよ？

えへへ……

あの……精一杯ご奉仕します……
いっぱい気持ちよくしますから……どうか可愛がってください……

あーっ♥アディちゃんのその笑顔がたまらないわあ
うんうん自分から言えて偉いわー……よしよし♥

あたまをなでられた うれしい……

あはあは

エヘヘ





アディちゃんったら……
産んでから更に積極的になったわね！♡
おしゃぶりもこんな上手になっちゃって……

そんなに魔族へ変わるのが嬉しいのかしら？

ふああ……♡

ご主人様とずっと一緒に居られるって……

そう思うとっ身体がきゅんきゅんしてっ♡えっちな気分が止まらないんですっ♡

まるで発情した犬みたいね……

私と一緒にのサキュバスにしようと思ったけどお犬さんもいいかしら



あっ♡ 吸いつきすぎっ♡
おしゃぶりの吸いつきでお返事するなんてやさしいー
そんなやさしいアディちゃんにはザーメンあげちゃうわぁ♡

ふっ♡

ごっ ご主人様っ
わたしっ犬がいいですっ♡ご主人様の犬がいいですっ♡
そっかぁ……犬がいいんだぁ♡
そうね……身体の刺青と魔力も定着した頃だし……
魔族になっちゃいましたっか♡



身体の準備は終わってるから……
後はこの転化薬に私の魔力を混ぜて飲ませるだけなのよねー



アディちゃん、うずうずしすぎー
そんなに焦らなくてもすぐ転化できるのよ？

ごっごめんなさいご主人様っ
わっわたしっ待ちくれなくてっ♡

必死な顔が本当にかわいいー
口移したくなっちゃった♡

あっありがとうございますっ♡

……今は魔術陣を利用した儀式をせずに転化できるなんて
便利な時代になったのねえ……知らなかった……

……これ、あまり美味しくないわね……





はい 全部飲めたかお口チェックしましょうね
んあっ……全て……飲みました……♡



よく飲めましたー♡
後は変わるのを待つだけねえ……楽しみだわあ

はいっ私も楽しみで
グッ!?

あらあら? 早速始まったのかしら

アディちゃん？ すごいお顔してるわよー

うっわ...
アディちゃん

アディちゃん

ビク

あはっ♥すごい反応ねー
おもしろーい♥

ビク

アディちゃん

アディちゃん



うわっ 物凄い勢いで変化してるわね……



……終わったようね
はいっおつかれさまあ♥
耳と尻尾も生えたし本当のワンちゃんになったわねえ
え、えへへ……ごひゅじんさま……
わらひ……まぞく……うれひいれす……えへへ……
ふふ……魔族の世界へようこそ
まだまだ可愛がってあげるわ♥



あ、あの……ご主人様に頂いた衣装……いかがでしょうか……♡
あら……似合ってるじゃない？

魔族になったアディちゃんも素敵ねえ
ムラムラしてきたわあ……

ごっご主人様っ♡

あははっ尻尾まで振っちゃって期待しすぎぃ♡
焦らなくてもすぐにおちんぼ挿れてあげるから安心して♡

はいっ♡

